福祉 あれ？これ？列車

特定非営利活動法人 たすけあい一歩
代表　横田治絵
〒276−0026 八千代市下市場1−5−8
☎;047(485)7050 FAX;047(411)7626
Eメール tasukeai.ippo@gmail.com

「人の口に戸は立てられない」と言うけれど

代表　横田治絵

きょうをおいてもう「お花見」はできないという4月6日、皆で小林牧場まで行って来ました。遠くから眺める桜と目の前で見る桜、どちらもそれなりの美しさを醸し出しています。ひ弱さを感じさせながらも、満開に咲き誇った桜並木は毎年毎年人々を魅了します。

そんな桜がもし言葉を発するとしたらどんなことを言うのでしょうか？ 樹齢1,000年とも言われる桜があります。時代とともに移り変わる人々の様を一部始終見てきた桜は、いつの世もただただ人々の心を癒してきたのでしょうか。人間は50年が80年に、最近では90歳は珍しくなく、なんと100歳も急増しております。人間の寿命が延びたのには、第二次世界大戦が終わって、食べ物事情がよくなり、医学の発展があったからでしょう。確かに戦後の医学や化学の発展は目覚ましいものがあります。けれどもそれはごく自然な人間の幸福や世界の平和を願う思いとは違う、別の動機が見え隠れしてなりません。しかしこの世は何事も「言わぬが花」と黙して咲き誇っている桜だから、より一層美しく見えるのかもしれません。

さて、私たち人間も花のように美しくありたいと思いませんか？ そう、花のようにです。それは口を開くなということでしょうか？ いや、人と人とが口を開かずにどうして交流ができるでしょうか、どうして意思の疎通↗をとれるでしょうか、どうしてコミュニケーションを図れるでしょうか。口から出る言葉が人と人とを繋ぎ、人の輪が広がって行くのです。人間の本当の美しさは外見(容姿)ではなく内面(心)です。桜は咲いている時はもちろん、散りゆく様も美しいのは、その命があまりに短いからでしょうか。人の一生も決して長いとは言えません。外見が美しいと言われるのはほんの一時ですが、しわや白髪が目立ってきてもさらに美しくなっていけるのが内面です。人の内面はその人が発する言葉で見えてきます。時として言葉は諸刃の剣となり、一人または大勢の人を傷つけることがあります。「人の口に戸は立てられない」とは言いますが、邪推や憶測で、見てもいないことを見て来たかのように話したり、真実を捻じ曲げて話したり、想像で尾ひれをつけて話したり、人を陥れる目的の作り話も、すべて人の口から出るのです。喰うか喰われるかは野獣の世界のことと思っておりましたが、今の世の中を見回してみると、野獣以上の残虐な行為が見られます。人間はいったいどこまで悪くなっていくのかと不安になります。唯一人間と動物を区別する理性を培いながら、私たちは自分自身の口を守って、子供たちに恥じない言葉を発信していきたいと心から願うばかりです。

連載⑩ バトンタッチ

今号は スイス在住 ボージガー由香様 ご入居者・Nさんご息女様

Heimatliche Sprache und Kultur (HSK:義務教育期間内に国で認められた第二母国語講習) 小学校・幼稚園 日本語講師

前号は「ニコニコアート」大石宣子様
日本臨床美術協会資格認定 4級臨床美術士

次号は 株式会社シルバーホクソン 安達正裕様
福祉用具販売レンタル・住宅改修・訪問ヘルパー・ケアマネージャー・デイサービス

「まほうの家」でお世話になっているNの娘、ボージガー由香と申します。スイス人と結婚して早25年、スイス在住です。ことしで横田さんはじめ皆さんに両親の介護をお願いして早16年になります。会報担当の吉澤さんに連載「バトンタッチ」の原稿依頼をいただきました。横田さん皆さんとの出会いからお話しさせていただきたいと思います。

1999年12月、世界中がミレニアムのお祭り騒ぎの中、1本の電話がスイスで暮らす私の元に日本の伯母からかかってきました。日本の母がくも膜下出血で倒れたと。その年の春に4歳と2歳の子供たちを連れて日本に帰った時は母も父もあんなに元気だったのに、嘘であって欲しいと思いながら日本行きのチケットの手配をし、小さい子供たちをスイスに置いて行くわけにもいかず、スイスの現地の幼稚園に通い出していた息子の休暇届を出し、慌てて飛行機に飛び乗りました。父が母より11歳上なので、何かあるとしたら父の方が先なのでは、と安易に考えていた私には青天の霹靂でした。病院に着いた時、ベッドの上に横たわる母の姿を見た時「あー！現実なんだ」とひどいショックを受けました。母は出血箇所が見つからず手術を受けられない状態で絶対安静。父は母が倒れたショックでオタオタとするばかり、仙台に住む伯母の所に一旦子供たちを預け、病院に泊まり込みで母の看病が始まりました。私には兄がおりましたが病気で既に亡くなっており、いつか来るであろう父と母の老いについてしっかりと向き合う準備もしていなかった私でした。まだ手のかかる小さな子供たちと父と母の介護が一気にのしかかってきました。日数が経つうちに伯母の所に預けていた子供たちも母恋しさに泣き止まなくなり戻ってきていました。子供たちは保育園に預けなければ母の看病は出来ないので何度となく市役所に通いました。大正生まれの父は全てのことを母に任せきりだったので実家で一人にさせておくわけにもいかず一時的に施設に預かっていただくことにしました。その施設がとんでもない所で、身体的には多少のサポートは必要な父でしたが、頭はしっかりしていたにもかかわらず鍵付きの認知症の方の所に入れられてしまい、スタッフの態度はお年寄りに対してまるで子供扱いをしており、ひどく父を傷つけてしまいました。それでもやっぱり父を実家に一人には出来ないので父にも事情を話し、しばらくの間だけだからと我慢してもらうしかありませんでした。

「デイサービス太陽」(当時)
八千代市桑橋　2014年8月
ボージガー由香さん

その時点では日本はまだ介護保険が創設されておらず（2000年創設）、介護には全く無知な私は今後のことについて不安がいっぱいで何日も眠れぬ夜を過ごしていました。母の手術も終わり、右半身麻痺と言語障害が残ってしまいました。

そんな時です、知人の紹介で横田さんが私に会いに来てくださったのは。父が初めて関わった“心ない態度の施設のかたの印象”が強かったので　かなり構えて横田さんにお会いしたのを覚えています。父と母と小さな子供2人で四苦八苦していた私に横田さんは「歳の離れたお姉さんが出来たと思って頼

前号予告を変更して掲載しております ご了承願います

りにしてください」と、それはそれは親身になって接してくださいました。不安でいっぱいだった私にとって何と心強い言葉だったでしょう。涙が出るほどありがたかったです。

半年近くの日本滞在、このまま父と母を日本に置いて行っていいのか？ スイスに連れて行く？ 小さな子供たちの将来のことを考えるとスイスに戻らなければなりません。スイス人のお父さんは文句も言わず、ずっとその間一人暮らし。スイスの福祉はしっかりしていますが、日本人である両親を異国の地に連れて行くのは、やはり無理があります。全くわからない言葉の国、食文化も違う。父と母は自宅に戻り、介護保険も始まりました。スイスからの遠距離介護にとって、母の兄弟の仙台の伯母や埼玉の叔父の存在も本当にありがたかったです。不思議なもので、私の子供の頃の記憶の中にはいつも言い合いの喧嘩をしていた父と母でしたが、その後自宅に戻った2人は不自由な身体を抱えながらも、いつも見つめ合って、手を握り合って、さすり合って、穏やかに過していました。いつもやさしく丁寧な介護をしていただき、父は自宅のベッドで息を引き取りました。それも横田さんはじめ皆さんの手厚い介護のおかげだと感謝しております。ことし85歳になる母も「まほうの家」の皆さんに介護していただいています。笑っている母の顔を見る度に感謝の気持ちでいっぱいです。

横田さん、荻野さんをはじめ皆さんには大変な時期も多々あったことと存じます。一時期、母の介護を他のかたにお願いせざるを得なくなった時期がありました。介護が必要なご老人のことを一番に思い、日々取り組まれている横田さん、荻野さんをはじめ、皆さんが介護をビジネスターゲットとしてしか見ない輩にひどい仕打ちを受けても、行政は手を差し伸べてはくれないのかと強い憤りを感じました。

スイスからその時期、母の様子を見に来ると、以前と同じ施設なのに、夏なのに暗い暑い部屋の中、冷房のスイッチは切ったまま、おむつはベッドまで染みた状態で、介護職員は少なく、素人目に見ても手が足りていない状態、外国人のヘルパーさんがたどたどしい日本語で接していました。暗い顔の母を見た時は息が詰まりました。スイスから毎日来ることは到底無理なので、私の代わりに母の様子を見に行ってくださる「ケアチームジャパン」という団体を見つけ、母の様子を知らせてもらいました。施設の利用料はどんどん上がって行き、それでも母がちゃんとした介護を受けられているのならば良いのですが、その時同じ施設にいるかたが次々と亡くなって、私のその施設に対する不信感はマックスになり、母を今一度、横田さんの所に移すことが出来た時は本当にほっとしました。

「まほうの家」、無事のオープン、心から本当におめでとうございます。色々な問題が多々あると思いますが、どうぞ皆様お体ご自愛ください。スイスにも皆さんのサポーターがいることもどうぞ覚えていてください。

小林牧場の桜はことしも素晴らしかった…。

昨年に引き続いての「お花見遠足」、ことしも満開の桜のもと春を満喫しました

ことしも「お花見遠足」の4月がやってきました。昨年に続き「まほうの家」では印西市「小林牧場」にて総勢15名、満開のソメイヨシノのもと手作りお弁当を囲みお花見を楽しみました。当日は平日にも↗かかわらず大勢の花見客で大賑わい。テレビ各局「お花見はきょうが最後のチャンス」と言われればこれだけの人出にもなるのでしょう…。お弁当も完食、心地のよい春の1日でした。

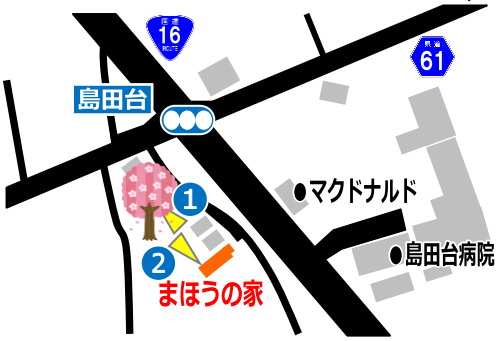
「まほうの家」を背に咲く満開の「枝垂(しだ)れ桜」
割烹「楠」様 敷地内から　3月31日午後1時

おみごと！「まほうの家」・「枝垂(しだ)れ桜」の共演

島田台「まほうの家」裏に、ことしも"春の風物詩"が立派に咲き誇りました

許可を得て撮影しています　①

この枝垂れ桜、今や「まほうの家」や隣接する住宅がこの地に建てられ、国道16号線からはかろうじて見える程度ですが、それ以前は遮るものが無かったため、「立派な桜を敷地内にて撮影させてください」と地主さんへ依頼される方が後を絶たなかったと言われたほどでした。「まほうの家」の一部居室からも眺めることができ、ご入居者様やそのご家族の皆様にもその凛々しい姿をご覧いただける春がことしも訪れました。樹齢50年ほどのこの桜は、満開を迎えると瞬く間に散ってしまうとのこと。地区の皆さんが旅行先で購入↗した50センチほどの桜の苗木を近隣各所に個々に植えたそうなのですが、割烹「楠」さん敷地内のこの桜に関しては「ただただ植えただけで勝手にここまで大きく立派になった」とのこと。満開であろう3月31日には早くも桜吹雪をも愛でることができました。



②

「まほうの家」敷地内から
3月29日

水木翔子さんの番組(インターネットラジオ・弊社提供)にゲスト出演しました

当誌「福祉あれ？これ？列車」でもおなじみ、八千代市在住のシンガーソングライター・水木翔子さんのインターネットラジオ番組「ミナキーと洒落と歌の日々」が毎週水曜夜9時より放送されています。提供スポンサーとして横田代表が3月23日第4回目の放送にゲスト出演を依頼され、大田区のスタジオで生放送に挑まれた時の模様、トークの概要を誌面にてご紹介します。

今週のゲストは、サービス付高齢者向け住宅「まほうの家」の代表、横田治絵さんに来ていただきました、どうぞ！　横田さん、なんかちょっと後ろ過ぎませんか？　大丈夫ですか？　なんだかご遠慮されているのですか？

いえ、あのー、水木先生と対照的な体型なものですから、すみません。「後ろにいるほうが少し細く見える」って言われたものですからね。

実はですね、秘書の方で細かいことまで気を遣ってくださる方がいらっしゃって、私のところにも実はメールが来てまして、吉澤さんって方なんですけど「横田さんがちょっと画面に入るかどうか」と･･･、そんなことは言ってないか。でも私と比べて太って見えるのがイヤだっておっしゃって･･･。私も太って見えるような格好をすれば大丈夫かなと思って、きょうそのような格好をして来たので大丈夫だと思います。(隣を見て)全然大丈夫じゃないですか？　きょうは本当に遠いところありがとうございます。横田さん、この高齢者向け住宅「まほうの家」というのはどのような…？

サービス付高齢者向け住宅です。きょう、ちょうど会報(前30号)ができまして、来る前にみんなで一生懸命折って(製本して)まいりました。いつも水木先生に原稿をいろいろお願いしているんですけど、今回は韓国の皆さんがまたおいでになって、そのことを真ん中の部分なんですけど･･･。

日韓のコンサートを1月にさせていただいた時の話題をこうやって会報に載せていただいて本当にいつもありがとうございます。皆さんに話したら「送ってくれませんか？」という電話が来まして、吉澤さんがその方に送ってくださったみたいで。会報が欲しいという方がいらっしゃったら、横田さんも文章がお上手で、とてもいいことが書いてありますので、差し上げますよね？↗

はい、一人でも多くの方に読んでいただけたらと思っています。

サービス付高齢者向け住宅「まほうの家」とは「真」の「宝」と書くそうですね。「真の宝」があるのですね。

そうですね、ここでお年寄りが暮らしているわけですけども、いろんな人生を歩んできて、それで一人ひとりが生きてきた過程という宝物だと思うんです。そのお年寄りと私たちも接触して、本当に宝物をいつもいただいているなと感じていまして、「まほうの家」というのは真の宝がたくさんあるところだと…。そして若返る「まほう」もあるんです。あえて「まほう」と平仮名で書いたのですが、二重の意味を含め、いろいろな出来ないこととか、不思議なこととかが膨らんでここでできたらいいなと思って平仮名で「まほうの家」としました。

本当にいいネーミングだと思います。これはどちらにあるんでしたっけ？　まだ2階はあいてますかね、中川美恵さんと「一緒に入りたい」って言ってたんですが。

千葉県八千代市島田台というところです。当初(入居を)予定していた方たちが本当に残念なことに次々と亡くなられてちょっと予定外の出発をしたんです。今は新しい人たちが入ってくださっているという状態です(2階は数室空いております)。↗

国道16号線沿いにあるんですよね、周りが「畑」で…。

そう！「お花畑」なんです。「みなさんの命にも花を咲かせるような」で。枝垂れ桜もものすごいんですよ。国道からも見えて、みんな車を停めて「写真を撮らせて欲しい」とか言われているそうです。その反対のお隣さんは本当にお花畑！私たちもちょうど(ここに来て)1年になりますが…、

去年の3月22日じゃなかったですか？　きのうだ！　去年のきのう！　私も(開設式典に)呼んでいただいてありがとうございました。1年はやいですね。

1年間お隣さんからお花をいただきっぱなしで。本当にきれいなお花に囲まれているので、みなさんぜひカラオケを歌いにでも来て欲しいなと思っております。

私…時々、(「まほうの家」まで)レッスンに行きますので…。何か、「歌」って命の源になるような気がしますね。↗

よろしくお願いいたします。本当にお年寄りの皆さん歌が好きでね、歌を歌ったことないとか、家族は1回も聴いたことないとかおっしゃるんだけども皆さんとんでもない！もうマイクを持ったら離さないくらい歌好きな方が多いです。

何度か「まほうの家」にお邪魔したことがありますが、本当に手厚い、自分のおじいさん・おばあさんって言うのかな、先ほど横田さんが言われたように、その「まほう」…、長年いろいろな経験をされたお年寄りたちがいらっしゃるそのものが「宝」だとおっしゃいましたけど、本当にそうだと思うんですね。昔はおじいさん・おばあさんと住んでいましたよね、大家族…、3世代にわたる家族に必ずお年寄りがいて、いろいろなことを学んだと思うんですよね。それが今無くなっちゃたので…。お年寄りの力って言うのかな、それは本当に「まほうの力」だと思いました。ではこの先、横田さんは「まほうの家」を(どう？)、私が第2弾「まほうの家」を出すとかっていう…。

そうですね、水木先生がぜひとも「まほうの家」をどんどん、2号店・3号店とできればいいなと。私も大きな施設を望んでないです。やはり目の行き届く自然体でみんな楽しく暮らせるとなると小規模な施設になると思うんです。私が初めてこの世界に入った時、大きな施設で「コレはダメだ」と。やはり人間らしく最後までありたいということで夢が実現したわけです。

素晴らしいですね。実は私も何年も前から目標を持ってやってるけど、なかなか実現できなくて。夢を実現された横田さんにお会いすると「私もがんばらなきゃ」という気持ちになります。

ぜひ水木先生が歌われてる「手をつなごう」、本当に世界平和の歌だと思うんですね、周りだけじゃない、世界全体の平和を単刀直入に歌われている気がするんです。最初に聴いた時から虜になりまして。どうしてもこの歌を世界中に広めたい思いが強いんです。でも経済的になかなか応援できなくて申し訳ないなと。「手をつなごう」を宣伝してこの歌が「パッ」と広がるように、願い続けております。(一部割愛・加筆)

視聴方法　パソコン・スマートフォンで「パラオリンクス」と検索 → 「Palau-links (パラオリンクス)」をクリック → ホームページ右側、出演者一覧より「ミナキーの部屋」をクリック → 下へスクロール「下記のサイトならびにＬＩＶＥでお聴きになれます」下の「ＵＳＴＲＥＡＭ」をクリック → お聴きになりたい日にちをクリックで過去の放送もご覧いただけます
「まほうの家」ホームページでもこの第4回放送分のみご覧いただけます。「ニュースリリース」に掲載しております　まほうの家　なお、「インターネットラジオ」は音声だけでなく映像もご覧いただけます

ことしも大豊作！桑橋（そうのはし）でたけのこまつり開催

兼 送別会

2年間おつかれさまでした

たけのこを採って食べて…　春の大地の恵みをことしもたくさんいただきました

ことしも桑橋の竹林には多くの新芽が顔をのぞかせていました。好評をいただいております「たけのこまつり」を4月24日（日）に開催しました。当日は朝まで雨模様でしたが正午前までには急速に回復、陽ざしのふりそそぐ広場にて数多くのたけのこ料理等を囲み、↗歓談を繰り広げられたあとのお楽しみがたけのこ掘り。スコップ片手に裏手の山へ登り、目当てのたけのこを仕留めようと全力で挑むも意外や簡単には抜けずに悪戦苦闘、汗だくとはなりましたが、春の心地よい風に爽快なたけのこ掘りとなりました。各々希望されるかたは持ち帰られ、おいしく召し上がられたことでしょう。

↗という間の2年間でした。叱咤激励の繰り返しでしたが、2年前より確実に成長しています。先はまだまだ続きます。ただひたすらに前向きに笑顔を忘れずにがんばって、他人への思いやりや気遣い・気配りも忘れずに、一歩一歩あわてずにしっかりと歩いて行ってください」。

2年間おつかれさまでした。どうぞお元気で。

そして、2年間介護職として勤務されたSさんがご家庭の事情で遠く他県へ移ることとなり、当日「送別会」を兼ね、職員が寄せ書きをした色紙や記念品を贈呈し労をねぎらいました。横田代表からのメッセージです…。「あっ↗

百歳バンザイ!!

「まほうの家」開設早々、百歳をめでたく迎えられたＩさんを盛大にお祝いしました！
おめでとうございます!!

「まほうの家」開設1年を迎えた矢先の3月30日、入居されていますＩさんが、ついに大台の100歳を迎えられ、直前の日曜日・27日にご家族様をお招きし、誕生日をお祝いしました。大正5年にお生まれのＩさん、茨城県水戸に程近いお寺の娘として生まれ、幼少期は二度にわたる大戦・盧溝橋事件・関東大震災など激動の時代を過ごされました。上京後は実践女子専門学校（現 実践女子大学）に入学、「渋谷駅のハチ公の頭を毎日なでて通学した」とのこと。のちに出会うご主人様は「職業軍人」のため出征、Ｉさんのおなかの中に宿っていた新たな命との対面は果たせませんでした。戦時中あちこち居場所を求めて苦労が絶えなかった経験から、平和の重要性を説いてきたというＩさん、100歳の誕生日を「まほうの家」で皆さんにお祝いされた姿を、天国のご主人様はあたたかく見守っていてくれていたことでしょう･･･。

あなたも「たすけあい活動」に参加しませんか

あなたの空いた時間　あなたの得意とすることを　ぜひ地域の中で役立ててください　あなたの優しさを待っている人が大勢います

■「たすけあい活動」は会員制です

▲サービスをご利用されるかた　【入会金】10,000円【年会費】3,000円　1時間1,500円　交通費実費負担
（長時間の利用料金はご相談ください）

▲サービスを提供されるかた　【年会費】1,000円　1時間800円～1,000円　交通費実費負担

▲活動をご支援くださるかた　【賛助会員】一口3,000円　何口でも

お振込み先は　千葉銀行（0134）八千代緑が丘支店（048）普通 3460607
特定非営利活動法人 たすけあい一歩 理事　横田治絵

この他にもいろいろな活動会員がおります。詳細は☎047（485）7050 または 📱080（1213）6761 横田までお気軽にお電話ください

Iさんの100歳を祝し、長女・H様よりお言葉をいただきました。ここにご紹介いたします。

3月30日、「おぎゃぁ」と生まれて100年が過ぎるなんて、あの戦争も越え、なんとたくましく生き抜いてくれたかと改めて本人・周りの生きて来られた方々に御礼を申しあげたいと思います。昨年↗入所できた、一にも二にも人を大切にするという「まほうの家」に入所出来たこと、これが母が長生き出来た大きな要因だと思います。ありがとうございました。　娘より

誕生日当日は長男・H様の奥様もお祝いにかけつけてくださいました。Iさん、よかったですね！

「まほうの家」で介護を通じ人生を一緒に考えませんか？介護職員を募集します

お年寄りに敬意をはらえるかた ほか、後述の趣旨に賛同いただけるかた、ぜひ弊社へ!! 福祉社会の改善にあなたのお力添えを!

正社員【月給】18万円〜＋諸手当
【勤務】24時間 変則シフト制
▲休日はシフト制　▲社会保険完備
▲交通費支給　▲車通勤可
▲詳細は面談時にお問い合わせください
パート【時給】850円〜1,100円
【勤務】都合のいい時間でかまいません
土曜・日曜日に勤務できるかた 優遇します
【資格】「ヘルパー2級」 無資格でも可
「介護福祉士」「社会福祉主事」のかた歓迎

お問い合わせは☎047(409)8568　担当は横田・荻野です。お気軽にお電話ください。
ご応募の際は、電話連絡のうえ「履歴書(写真添付されたもの)」を持参し来社ください

株式会社 あゆみ

各利用者さま・ご家族さま・関係者さまなどの実名と顔写真の掲載に際し、各位の許諾を予め得ております

まほうの家

サービス付
高齢者向け住宅

めぐり逢うご縁で集う 居心地のよい居場所

真宝 まほうの家

サービス付高齢者向け住宅 まほうの家をご紹介、こんなところです

イベント多数！　新年会・たけのこ祭・たなばた・敬老の集い・クリスマス…季節を感じていただくとともに、地域の皆様との交流にも尽力！

日中も飽きさせません！　アート教室・折紙の講師も訪れます！　カラオケ「DAM」は歌い放題！

ご入居者様の個別対応、喜んで対応します！

ご家族様、いつでもお越しください！

安心です！　毎週、専門医・歯科医が来ます！

■交通のごあんない　東葉高速鉄道・八千代緑が丘駅より
千葉レインボーバス、船尾車庫行き 島田台停留所下車
徒歩およそ5分　京成線・勝田台駅、東葉高速鉄道・
東葉勝田台駅より 車でおよそ15分

まずはお気軽にお電話ください

047-411-5007

24時間年中無休　担当：横田・荻野

株式会社あゆみ
千葉県八千代市島田台木戸場８７９－７